

小学校で出前授業を実施

柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課 有田昌央

平成28年6月8日(水)、9日(木)に柏崎市西山町にある小学校の4年生(内郷小学校(9名)と二田小学校(26名))を対象に出前授業を行いました。両校では、総合学習の中で、地域の自然環境や水の源について学んでおり、今回の出前授業は、小学校の近くを流れている用水路や別山川の水がどこからきているのかをテーマとして、行うこととなりました。

授業では、学校の近くにある用水路や別山川を上流に向かってたどりながら、途中にある施設ごとに、それらの役割の説明をしました。驚いたことに、両校とも、近くの頭首工を見たことを憶えている児童は多くいました。しかし、その役割を知っている児童はいません。そこで、頭首工は川の水を堰止めて水路に取水し、田んぼへ配水するための施設だと説明すると、とても納得した表情で

「この施設は、頭の良い人が作ったんだ」という感想も出ていました。

その後、さらに上流にある後谷ダムや、間接取水のための甲戸取水工について説明したところ、これらの施設は田んぼで水を多く必要とする夏に備え、冬の水を貯めるための施設だと分かってもらえました。また、「ダム工事によって住処のなくなる動植物は移動させることが必要であり、ヒツジグサ、ノハナショウブなどを移植した」と伝え、児童らはどんな生き物や植物なのだろうかと興味を持った様子で、一生懸命にノートにメモをとっていました。

最後に、「後谷ダムでダムの見学と動植物の観察会を行いますので、楽しみにしててください」と伝え、「はい!」と元気な返事を頂き、出前授業は終了しました。

6月中旬には、後谷ダムでダムの見学と動植物の観察会を行うことを予定しています。今回の授業で学んだ後谷ダムを実際に歩きながら、移植した動植物を自分の目で見て、手に触れて確かめてもらうことで、後谷ダムの様子や多くの動植物が生育しているのを感じてもらえるような観察会にしたいと思います。



二田小学校 出前授業風景
有田先生



内郷小学校 出前授業風景
佐藤先生